頭をかしげている。

今でこそ彼岸の中日は国民の

寒のもどりとならないかと、

復の春風が、

増税による

御指導頂く様になり、

墨一色で、

講座で水墨画教室がある事を知りさっ

て見たいと思いました。ある日公民館

そく入会しました。中島美代子先生に

りました。私もいつかあんな風に描い

に描いてあ た。みごと 郵便局でし 市祈祷院の たのは八女 画に出会っ 初めて水墨

街かど

gallery

します。「彼岸」は「此花、千人参りを思い出 解脱して達する境地、 彼岸と言えば、

醜い現世に対する極楽 悟りの世界を言います。 ころでしょうか。 土の世界と言ったと の譬え、文字通り

て秋の彼岸は凋落と厳冬への暗季の出発なのです。これに比べ の彼岸はうららな春 鳥鳴き花笑うの好 「冬来たりなば春遠から 人々は春の彼岸を待ち

かと、一年ぶりに頭をもたげ

、春風が、 裾野にも、

吹いているだろう 景気回復の温

の婆さんは茶の間で茶を啜り乍 ません。老人達は早朝からゲー 祭事に参加する者は殆んどあり トボールに現を抜かし、留守番 祝日として定着していますが、

「八女の方言歳時記」

より

弘法さん参り(千人参り)

がって説教に聞き入ったものでの遠い老人は効き耳に手を当て

中日チャ

提寺に詣っていたものです。耳 脚力の衰えた人は、代わりに菩 いて札所巡りに出ていました。

連れて、

饌米袋を肩に、杖をつ

とがあるのではないでし 名代の手羽先を食べたこ

皆さん一度はこのお店

アで飲食店を展開する「ひ ょうか。八女・筑後エリ 嘗ては中日には老若男女打ち

愛です。

生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展

ら手本をもらって自分なりに描いた絵

ています。月に二回の教室で、

濃淡で描くむずかしさに苦労し

まだまだ上達は出来ませんが教室の仲

先生に応援して頂き頑張りたいと

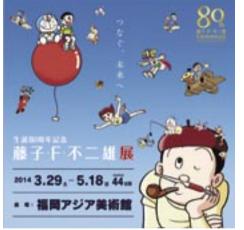
3月29日~5月18日 会 숲 福岡アジア美術館 主 催 九州朝日放送•朝日新聞社 入場料 大人(一般・高大生) 1200円(1000円) こども(4歳~小中生)

> 600円(500円) 親子ペア 1700円(1400円)

> > ()内は前売り

お問い合せ先 藤子·F·不二雄展 福岡会場事務局

☎092-291-6792



立花町山崎

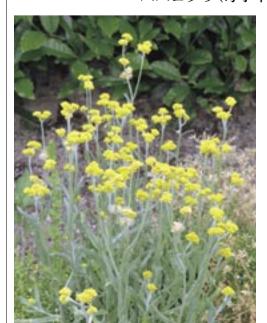
渓子

平

○藤子ブロ

オバケの Q 太郎/c藤子ブロ・藤子スタジオ

矢部川源流•杣の里の四季 ハハコグサ(母子草)[キク科]



春の七草の一つ、オギョウ (御形) はハハコグサのこと。 花をつけない若い葉を食用と し、七草がゆの具にします。

矢部村では茶畑など、日当 たりのよい畑や道ばたに普通 に見かける2年草(越年草)。 全体に細かな綿毛でおおわれ ているため白っぽく見える。 開花は4~6月。

この草の開花期に全草を採 取し、天日でよく乾燥させた ものを生薬の鼠麹草(そきく そう)といい、咳止めの効能 があるとされている。

(黒木町) 松尾 重根

寺メーリガシゴツジャッタガ… 生臭ケクサ入ットランバッ オトキチョーッタタ 昔も今も変わりあ オ寺デ昼飯ド オ 寺

衆生の願望は「現世安隠、

トテモウマカッタナヤ」

っとこ」さんの朝礼は

有限会社 ひょっとこ

八女市本町1-243

員が八女本店に集ま お互いの顔が見る 各店のスタッ

ように円形での活力朝礼 朝礼を始めてから

お昼の12時からはじ フ 全 える りま まり 「みんな以前よりも時間

が終ると、みなさんいっ 場の教養」の輪読から感 ました。挨拶の実習、 もしれませんね。 るいお店の雰囲気の秘密 せいに各店へ飛び出して 想発表、連絡事項の伝達 店長はその効果を語られ もメリハリがついてきま の意識が高まり、 は、この朝礼にあるのか いかれました。元気で明 した」と八女本店の永田 行動に 職

事務局0942-42 2815迄 活力朝礼を取り入れたい TEL0943-23 5 8 0 9 筑後倫理法人会

西日本新聞筑後八女地区エリア情報紙